



東久留米の近代史シリーズ5

武蔵野鉄道東久留米駅（8）

東久留米駅の発展・2

東久留米駅の施設

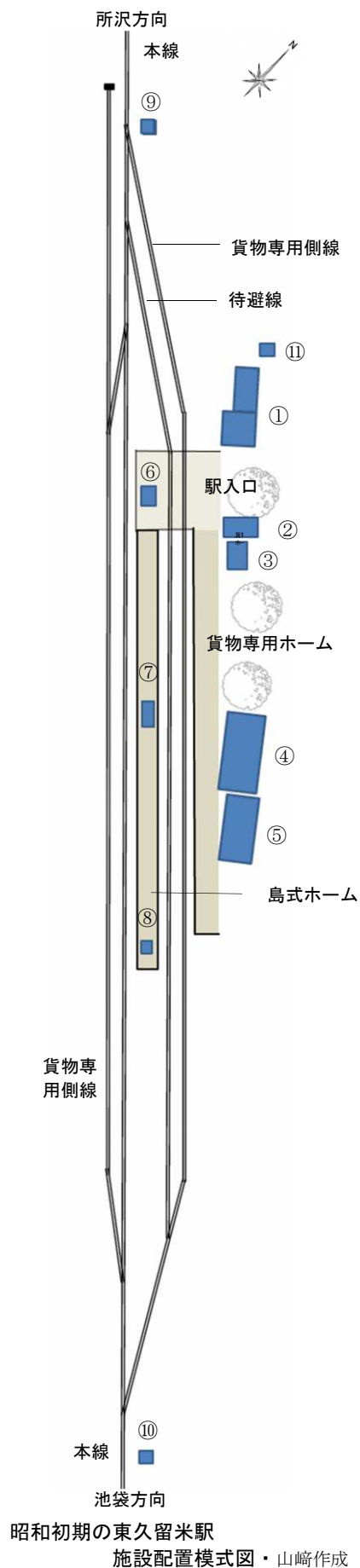
東久留米駅の駅舎等の施設については、開業後の変遷を知ることができる具体的な資料が確認されていません。しかし、1930年（昭和5年）の「家屋税台帳」、1943年（昭和18年）の空中写真測図「東久留米駅」（大日本帝国陸地測量部）、1947年の米軍撮影空中写真（USA-M380-102）等を参考に復元を試みることができます。次ページが昭和初期の東久留米駅の施設配置復元図です。1943年の地図では構内の線路は4本、1947年の空中写真では5本あります。島式ホームの西側に本線があり、その西隣の側線は1924年（大正13年）に糞尿積み下ろし所のために造られたもので、1928年に糞尿輸送終了後も貨物専用側線として使われていました（注1）。さらに、その西側に空中写真には中島航空金属田無製造所専用の構内・構外側線が1944年（昭和19年）に敷設されています。ホームの東側には待避線と貨物専用側線がありました。東側の側線には荷物の積み下ろしができるように貨物専用ホームが造られています。1930年の「家屋税台帳」には貨物置場が2棟みられることから、この貨物専用側線も大正期に造られたものと考えられます。駅の家屋施設については「家屋税台帳」によってかなり詳細に分かります。その付図によれば11棟の建物があり、名称・面積・構造が記載されています。東向きの東久留米駅入口には駅事務所及駅長社宅と便所・器具置場が並び、その間を歩いてホームに向かったようです。貨物専用側線と待避線を渡ると列車取扱所があり、左のスロープで上がったホームには客待合所と便所がありました。また、貨物専用ホームの横には木造トタン葺平屋の2棟の貨物置場が建っていました。



ホームと待避線・列車取扱所 1932年（昭和7年）撮影



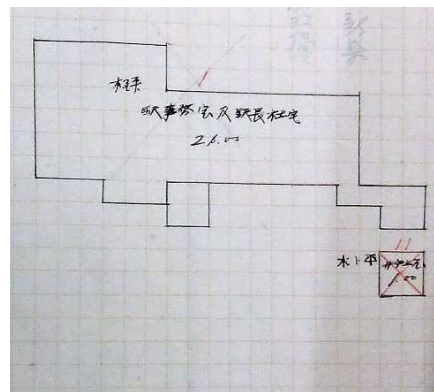
貨物専用ホームと駅前広場 撮影年不明



東久留米駅周辺の空中写真（1947年）

1947年米軍撮影空中写真（USA-M380-102）・国土地理院
この写真では1944年（昭和19年）に敷設された中島航空金属田無製造所専用側線が一番西側に追加されており、東久留米構内の線路は5本になっています。左図の昭和初期の模式図には入っていません。

家屋名	面積	構造
① 駅事務室及駅長社宅	2 1 坪 (約 69 m ²)	木造瓦葺平屋
② 便所	3 坪 (約 10 m ²)	木造トタン葺平屋
③ 器具置場	2 坪 (約 6.6 m ²)	木造トタン葺平屋
④ 貨物置場	2 8 坪 (約 93 m ²)	木造トタン葺平屋
⑤ 貨物置場	1 5 坪 (約 50 m ²)	木造トタン葺平屋
⑥ 列車取扱所	1. 5 坪 (約 5 m ²)	木造トタン葺平屋
⑦ 客待合所	3. 4 9 坪 (約 12 m ²)	木造トタン葺平屋
⑧ 便所	1 坪 (約 3.3 m ²)	木造トタン葺平屋
⑨ ポイント小屋	0. 5 坪 (約 1.7 m ²)	木造トタン葺平屋
⑩ ポイント小屋	0. 5 坪 (約 1.7 m ²)	木造トタン葺平屋
⑪ 旧井戸上屋 (廃止)	1 坪 (約 3.3 m ²)	木造トタン葺平屋



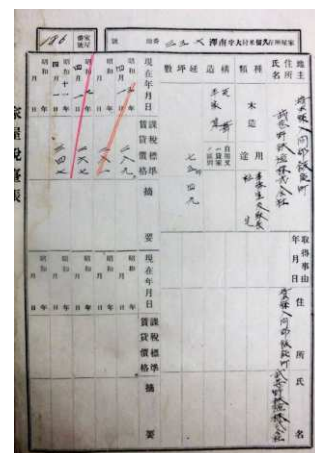
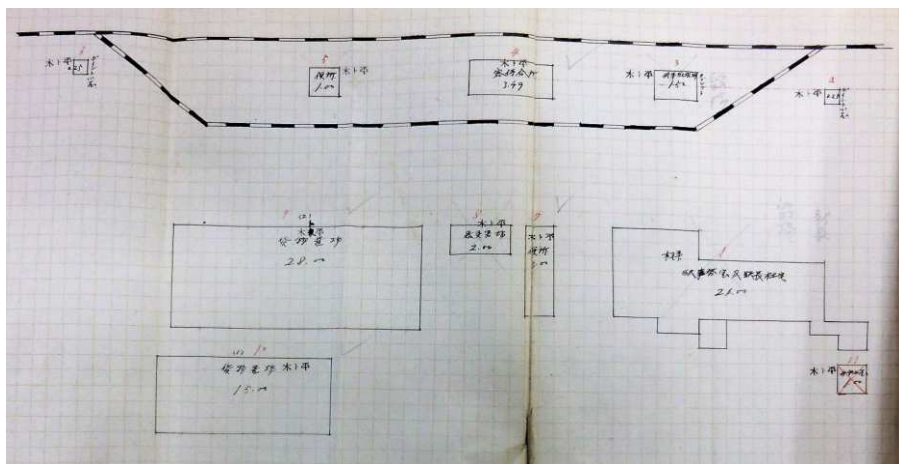
駅事務室及駅長社宅

東久留米駅模式図施設の内容

東久留米駅の家屋配置図

東久留米市郷土資料室所蔵の近代歴史文書『家屋税台帳・南沢』には昭和初期の東久留米駅の施設概要が具体的に記載されています。課税台帳のために図面の記載は模式的ですが、鉄道の本線と待避線、11棟の家屋の位置関係と構造・面積が分かります。所有者は「武蔵野鉄道株式会社」で、所在地は「久留米村大字南沢六五三番地」。主屋は事務室及駅長社宅（家屋番号 186・木造瓦葺平屋）で、敷地面積は75.49坪（約250m²）となっています。当時の駅舎主屋は駅長の社宅も兼ねた構造になっていました。施設の構造は「木ト平」のように略した印判が押されています。「木ト平」は木造・トタン葺・平屋の意味です。1930～36年（昭和5～11年）の7年に渡る台帳なので、施設の変化も読み取ることができます。例えば、当初駅事務室及駅長社宅の井戸（上屋）は外にありましたが、この間に主屋に併設されて、元の上屋が赤×で抹消され、主屋の面積が20坪から21坪に書き換えられています。建物の課税標準価格の変化も貴重な歴史的データです。

略図の家屋構成からみると駅事務室の西側がホームへの通路になっていたと推測されます。待避線を渡ると列車取扱所があります。取扱所は列車運行の指揮所のような役割があり、単線の上りと下りの安全運転に寄与しました。略図の取扱所の右にタブレット（タブレット）の表記があります。タブレットは、単線区間の列車の衝突事故を防ぎ、安全な運行を保つための円形の器具である「通票」のことで、一区間にひとつで、乗務員はそれを受け取らないと列車を進めることができません。本線と待避線を利用して上下線を安全に運行する大切なシステムです。そして、取扱所の前のスロープを上がると列車に乗る島式ホームになります。



『家屋税台帳・南沢』（同付図）

近代歴史文書 222・1930～36年（昭和5～11年）・市郷土資料室所蔵

注1）糞尿列車については犬井正著『土と肥やしと微生物』2023・農文協刊を参考にしました。

文責・山崎 文（東久留米市文化財保護審議会委員）

国の登録有形文化財「村野家住宅」 2024 春の特別見学会

「村野家住宅」は江戸時代から明治期にかけての景観が残る柳窪にあり、平成23年に7棟の建造物が国の登録有形文化財となっています。同住宅は個人住宅のため普段は見学できませんので、この機会にご覧ください。また、令和5年8月31日に新たに市の有形文化財に指定された河鍋暁雲作「七福神遊宴の図」(通常は非公開)も見ることができます。

第1回 4月23日(火) 締切:4月12日(金) 必着

第2回 5月19日(日) 締切:5月 2日(木) 必着

第3回 6月 1日(土) 締切:5月16日(木) 必着

※午前の部は 10:00~、午後の部は 13:00~

所要時間:約90分 募集人数:各回先着50名

参加費:お1人様700円(資料・保険・茶菓・維持協力費として)

集合場所:「村野家住宅」前(柳窪 4-15-41)、「柳窪一丁目」バス停から徒歩 11 分

応募方法:往復はがきに参加日と午前・午後の希望(第3希望まで記入可)、氏名(同伴2人まで連記可)、住所、電話番号、返信用に宛名を記入の上、〒187-0041、小平市美園町 1-6-1-207、株式会社兼七内「村野家住宅特別見学会係」宛てにご郵送ください。



郷土資料室では団体見学の受け入れを行っています

先日は、市内の小学校三年生のみなさんが、昔の暮らしについて学習するために団体見学を行いました。郷土資料室内では、竪穴住居の復元や、旧石器時代・縄文時代の土器・石器などを展示しています。また、廊下の展示コーナーでは、いろいろな種類の民具や、東久留米の変遷がわかる写真資料を見ることができます。

展示室・展示コーナーは無料でご覧いただけます。一般の方の団体見学も可能です。詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。(休室日:土曜、日曜、国民の祝日、12月28日~1月4日、資料整理のための臨時閉室日)



編集・発行

東久留米市郷土資料室(東久留米市教育委員会生涯学習課文化財係)

203-0033 東京都東久留米市滝山4-3-14 東久留米市わくわく健康プラザ内

電話 042-472-0051 無断転載はしないでください